

隠岐の特産品を作る —海の幸・山の幸を商品化—

五箇村久見特産品加工グループ
会 長 八幡タカ子

1. 地区の概要

私たちのグループのある五箇村は、日本海に浮かぶ隠岐諸島島後の北西部にある。人口は約2,200人で、そのうち約250人が農林水産業に従事している。村では農林水産業を基幹産業に位置づけてその振興に力を入れている。

2. 漁業の概況

竹島周辺での漁場を失い、また、魚の乱獲等によって漁獲量も減少の一途をたどっている。村の漁業の形態は、漁獲販売高から見ると大型定置網が7割を占めるが、私たちの住む久見地区は採海藻が中心で、かなぎ漁のほか、一本釣りや白イカ漁が盛んである。

3. 研究グループの組織と運営

私たちのグループは現在女性ばかりの11名で構成されており、うち、菓子生産部会6名、鮮魚類生産部会5名がそれぞれの加工分野で生産に意欲的に取り組んでいる。グループは規約を持っており、これに基づいてグループ運営を行うと共に、技術研修、販売研修、商談会また、しまねの味協議会にも参画する等積極的に自己啓発に努めている。また、それぞれの部会には部会長、会計・記録係、資材係、出荷係を置き、それぞれが自分の役割をきちんと果たしているのが特徴であり自慢できる点であるが、特に11年間に及ぶ活動の記録簿は会員の財産になっている。

また、H9年3月には私たちの利用できる村の特産品加工場が久見地区に建設されたのに伴い、村との密接な連携をとりながら加工活動に取り組んでいる。

4. 研究・実践活動課題選定の動機

久見地区は、昭和61年の保育園、小学校の廃校を契機に地区の活気が失われていった。こうした中であって、「特産品を作り地区の活気を取り戻そう」と考える有志6名が昭和62年に結成したのが当グループのはじめである。当初は加工原料と、一人5,000円の出資金を持ち寄り、漁業従事者の健康管理に役立つ加工食品を製造販売することを第一の目的にしたささやかなスタートであった。活動の第一歩として味噌製造施設許可取得し、低塩味噌の生産販売を手がけたが、会員の気持ちの中には「隠岐の顔となる特産品を作ろう」という本格的な商品開発に対する夢があった。

5. 研究実践活動の状況及び成果

(1)味噌加工が軌道にのる一方、平成元年にかけて菓子製造許可を取得し、菓子類の生産も手がけ始めた。地元特産の天然ワカメをみそ味で加工したスナック風おつまみ「みそ風味ワカメ」や隠岐のそば粉を100%利用したそば菓子「かりん」を相次いで商品化し、いずれも原料生産から加工までグループ員の手作りにこだわった。そば菓子「かりん」は、

平成3年度県加工食品コンクールにおいて奨励賞を受賞し、今ではヘルシーなスナック菓子として人気商品となっている。これらの商品のPRや販路開拓にも会員が一丸となって精力的に取り組み、島内の土産品店をはじめ、松江市の土産品店に店頭販売をお願いしてまわり今日の基礎を築いた。

(2) 隠岐の顔となる特産品の開発と加工機器の整備

会員一同、名実ともに隠岐の顔となる特産品づくりへの夢を実現するため、隠岐を代表する地域の素材「イカ」と全国に誇れる五箇村の「しゃくなげの花」に着目。これらを利用したせんべいを焼くことを思いついた。まず、県の試験研究機関しまねの味開発指導センター等で加工技術を磨くと共に、H7年度には農山漁村の女性を対象にした県の補助事業により、せんべい焼機等を導入し生産性の向上と商品化を強力に進めた。

イカ、アゴ(トビウオ)、海草(アラメ)、石楠花、椎茸、ソバ、山野草など海の幸、山の幸を取り入れて山ほどの試作品を作った。特に、原料や調味料の調合割合、それに新鮮な原料の確保・保存には苦心した。

毎日毎日試作品を作るうちに機械や素材のクセがわかり対話ができるようになった。そして、私たちの熱い思いが製品一枚一枚に包み込まれていったように思う。

こうした努力の甲斐あって、地元で捕れる新鮮なイカのすり身とイカスミをふんだんに使った、黒曜石のように輝く「いかすみせんべい」や「しゃくなげせんべい」ほか、多種類のせんべいが誕生した。隠岐の特徴を丸ごと詰め込んだ「いかすみせんべい」を平成7年度県加工食品コンクールに出品したところ、思いがけず最優秀賞の知事賞を受賞し、続けて行われた全国コンクールでも優秀な成績を収めることが出来た。いかすみせんべいをはじめとするこれらの商品は島内外の土産品店等で取り扱っていただくと共に、毎年5月の連休にかけて行われる五箇村の一大イベント「しゃくなげ祭り」には、「しゃくなげせんべい」と共に出品して観光客に喜ばれている。

また、H9年には県魚に指定されているトビウオを燻製にし製品化した。これをH10年度県加工食品コンクールに出品したところ質、味共に高く評価された。

6. 波及効果

(1) 漁業経営等への波及効果

隠岐を代表する魚「イカ」を利用した「いかすみせんべい」をはじめ「トビウオの燻製品」、「しゃくなげせんべい」等々が隠岐を代表する特産品として成長。豊漁時には二束三文となるトビウオや地域の誇る素材に付加価値が付き販売拡大につながった。現在生産販売している品目はいかすみせんべい、トビウオ燻製等20品目近くを数え、H9年度の売上は1700万円に達した。

(2) 地区内における雇用機会の拡大

菓子加工部会6名、鮮魚類加工部会5名、合計11名が常時加工に従事しており、副業機会のない漁家の女性の雇用の場として定着した。また、30歳代の女性が加入し、意欲的に働く等後継者の育成も期待できる。

(3) 地域活性化への波及効果

グループの加工活動が、女性の起業活動として地域内外から認知・評価され、村からも期待されるようになった。H9年度には村の支援でグループ員が利用できる特産品加工場が久見地区に新設され、効率的な生産体制が整備された。これを機に加工品目に「餅加工」

を取り入れ経営体質を強化した。

(4)若い世代へのアプローチと交流

・教育委員会の主催する中学生を対象とした「ふるさと体験塾」を受け入れ、環境問題と農林業の果たす役割について楽しく語り合いながら菓子づくりの指導を行ったが、寄せられた中学生らしく多感で素直な感想文には会員一同心を打たれ勇気とやる気を与えられた。

・また、島根大学教育学部の学生を対象にした体験研修も受け入れており、離島の抱える高齢化・過疎化の問題と地域振興について学習する機会の提供に積極的に協力している。

・観光客の農林水産業体験ツアー

隠岐島を訪れる観光客を対象にした「隠岐島農林水産体験ツアー」を受け入れ、加工品づくりを体験させている。後日体験者から礼状が届くなど真心のこもった対応が好評を得ているようだ。この訪問者とのネットワークも広がりつつある。

7. 今後の課題や計画と問題点

製品は安定的な売れ行きを見せているが、価格の割に製品が平凡で斬新性に欠けるといふ指摘もいただいている。今後製品のリニューアルを図り商品性の向上を図りたい。そのためにも次の点に留意して活動をさらに活性化させることにしている。

- (1)パッケージデザインの統一性を図る。
- (2)イカマークをデザインしたせんべいへのリニューアル。
- (3)消費者との交流を積極的に進める。
- (4)人的・物的交流を積極的に進める。
- (5)原料の計画的生産。
- (6)加工グループ加入者の育成。

以 上

五箇村久見特産品加工グループ規約

(名称)

第1条 本会は五箇村久見特産品加工グループと称す。

(目的)

第2条 特産品開発の経営者として資質の向上を図ると共に、消費者交流、観光等との連携をとりながら、隠岐の顔となる安全で美味しい特産品の提供に努める。

(事業)

第3条 本会は第2の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1)海産物、農林産物の加工技術の向上及び商品開発に関すること。
- (2)商品のPR及び販売に関すること。
- (3)その他目的達成に必要な事項。

(役員)

第4条 本会に会長1名、副会長1名を置くと共に活動運営に必要な役員を置く。
役員任期は2年とする。但し再任は妨げない。

(役員選出)

第5条 役員は総会において選出する。

(役員任務)

第6条 役員任務は次の通りとする。

- (1)会長は本会を代表し、総会等の業務を処理する。
- (2)副会長は会長を補佐し会計を担当する。

(事務局)

第7条 本会の事務局は会長宅に置く。

(総会)

第8条 総会は次の事項を議決する。

- (1)規約の制定、改廃に関すること。
- (2)年間加工計画及び収支予算の決定
- (3)事業報告及び収支決算の承認
- (4)その他重要な事項

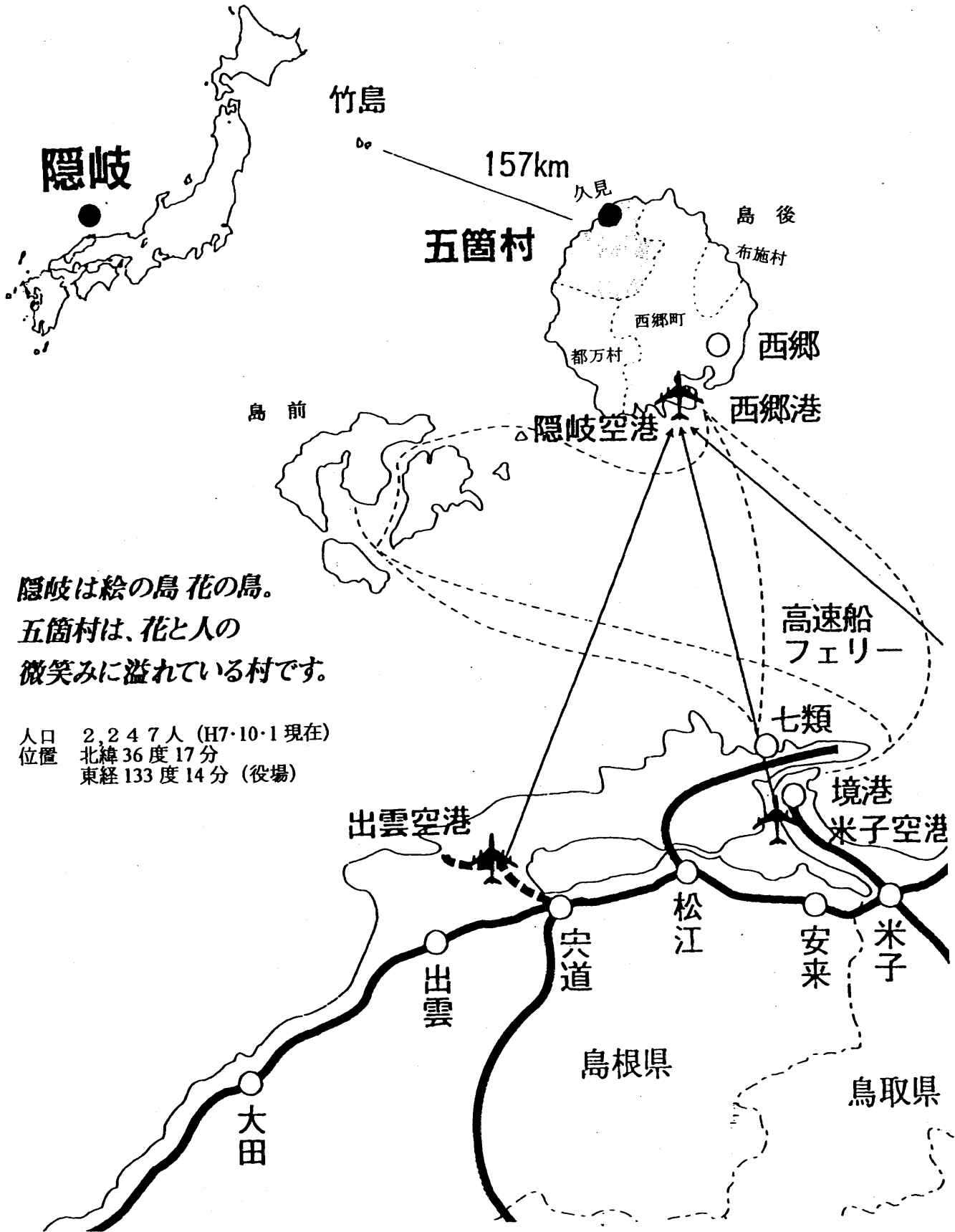
(経費)

第9条 この会の経費は会費及び助成金その他の収入を持って当てる。

(雑則)

第10条 なお、この規約に定めない事項については必要に応じ総会に別に定める
付則 この規約は昭和63年10月1日より施行する。
この規約は平成9年3月1日より施行する。

五箇村位置図



隠岐は絵の島花の島。
 五箇村は、花と人の
 微笑みに溢れている村です。

人口 2,247人 (H7・10・1現在)
 位置 北緯36度17分
 東経133度14分 (役場)

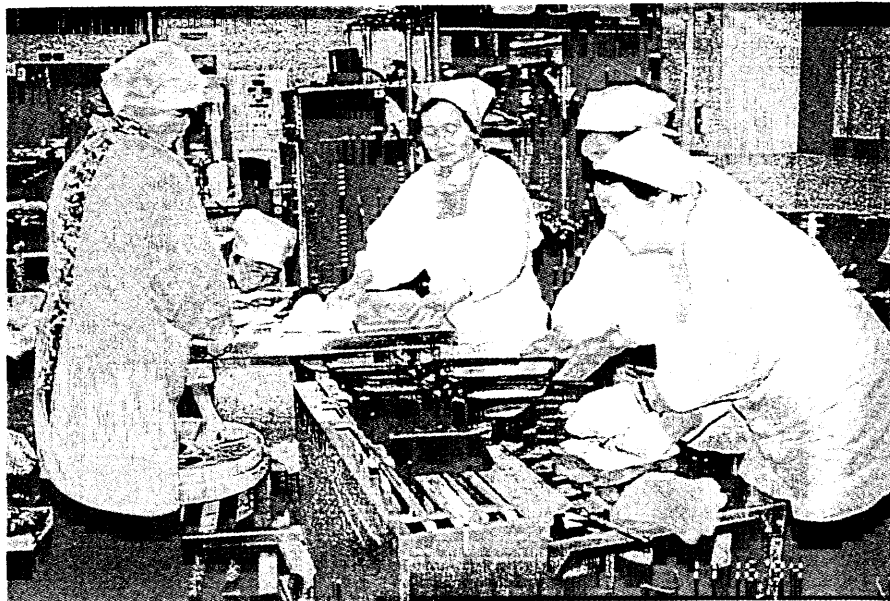
H. 6. 11. 16



H. 6. 11. 16



H. 6. 11. 16

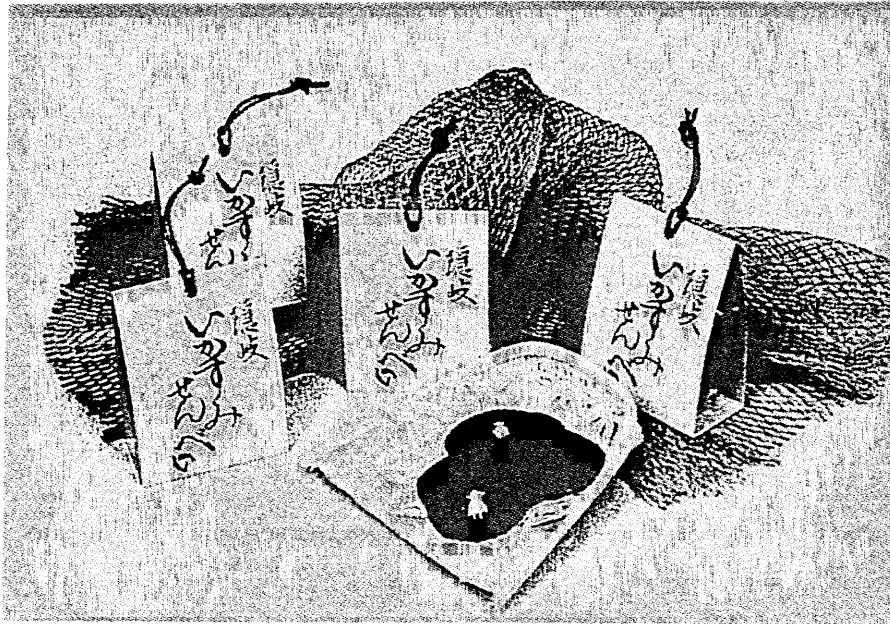


せんべい焼き技術研修
しまねの味開発指導ターにて

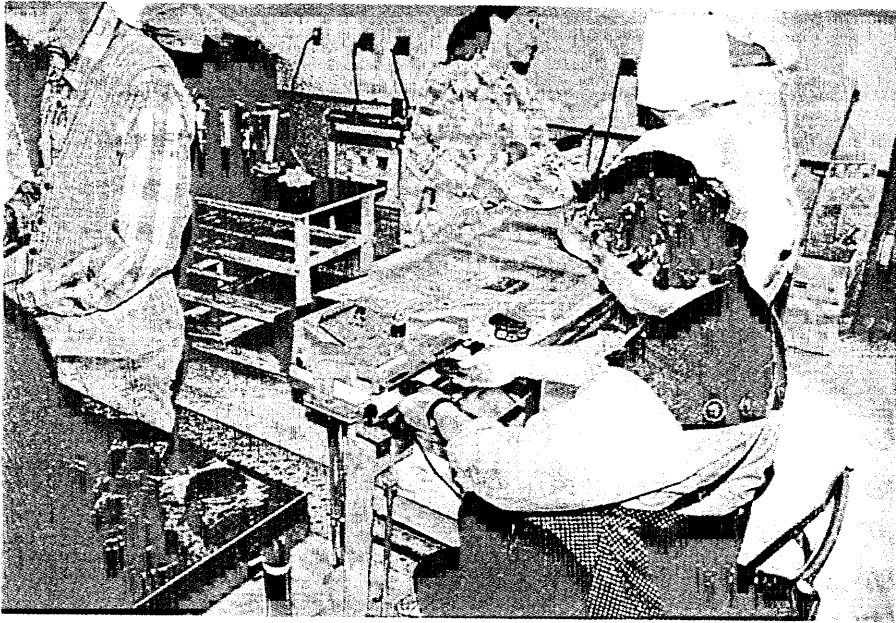
H. 7. 12. 11



H. 7. 12. 11



H. 9. 10. 18



H. 9. 10. 18



H. 9. 10. 18



近畿日本ツーリストの募集する隠岐島農林水産業体験ツアー客受け入れ